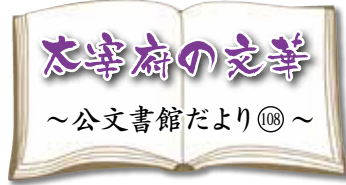


古代大宰府の軍事的機能(2) ～「新羅海賊」への対応～

以前、この欄で古代大宰府の軍事的機能として防人を取り上げました(令和4年12月号)。今回は平安時代初期のそれについてみてみましょう。この時期にはその兵力も含めて、大宰府の軍事的機能が大きく変わったと考えられるからです。

当時の国家兵力の中心は軍団兵士でしたが、延暦11(792)年には、諸国の軍団兵士が廃止されます。この時は大宰府など辺要の地は廃止から除かれていましたが、天長3(826)年、ついに大宰府管内の軍団兵士も廃止され、その代わりとして統領・選士・衛卒が設置されることになったのです。

ここで、大宰府が実際にこうした兵力を動員した事例をひとつ取り上げてみましょう。貞観11(869)年、博多津に「新羅海賊」の船2艘が来襲し、豊前国から都に貢納するために船に積まれていた絹・綿を掠奪するという事件が起きました。この時に動員されたのは、まさしく天長3年に設置された統領・選士でした。しかし大宰府からの言上による



と、これらがあまりにも「懦弱」(臆病で弱いこと)であったことから、それに代わる兵力として採用されたのが夷俘(東北地方の蝦夷の呼称のひとつ)でした。また、このことをきっかけに大宰権少式坂上瀧守を大宰府に派遣し、警固を勾当させることとなりました。さらにこの瀧守によって博多津にあった大宰府鴻臚館の軍備強化が図られ、また杵岐嶋の要請によって同嶋に武器の配備が行われるなどしています。東京大学名誉教授竹内理三さんによると、大宰府に「警固所」が置かれたのもこの時と考えられています。ここに大宰府を中心とする新たな「警固体制」が出来上がったと思われまます。この警固体制は、寛平5(893)年から6年にかけて起こった「新羅賊」襲来的时候にも基本的に引き継がれています。こうして、大宰府の新たな軍事的機能が形づくられたと考えられるのです。

【バックナンバーはこちら】ページID7241

太宰府市公文書館 重松 敏彦

◆ 令和5年度まほろば市民大学 受講生募集 ◆

まほろば市民大学とは

一般市民が老若男女を問わず中央公民館に集まり、生涯学習社会の創造に向けて知識や技能の基礎基本を学び、教養を高めるために講話を聞き、より一層心豊かで充実した人生を送ってもらうことを目的に開設しています。
※所属する各コースから正・副代表を選出します。当番制で受付や会場準備があります。

開催期間 5月25日(木)～翌1月25日(木)の午後1時～3時(全15回)

年間学習スケジュール ★は教養講座開催候補日(午前中)

回	全コース日程	回	全コース日程	回	全コース日程
1	5月25日(木)	6	8月24日(木)★	11	11月9日(木)
2	6月 8日(木)	7	9月14日(木)	12	11月16日(木)★
3	6月22日(木)	8	9月28日(木)	13	12月14日(木)
4	7月13日(木)	9	10月12日(木)★	14	1月11日(木)
5	7月27日(木)★	10	10月26日(木)	15	1月25日(木)

注)5月25日(木) 開講式・オリエンテーション

1月25日(木) 閉講式・実践発表会



参加費 5千円(コースにより別途要教材費)

申請締切 4月21日(金)必着

申請方法 ①往復はがき

氏名(ふりがな)・住所・年齢・電話番号・コース第1・第2希望を記入し、〒818-0101太宰府市観世音寺一丁目3番1号太宰府市中央公民館行き

②官製はがきを持ってプラム・カルコア太宰府(中央公民館)窓口

③市ホームページ

注意事項 内容の変更や講座が中止になる場合があります。

大人の工作コース 定員 15人 ～デコパージュ～

小林百合子さん

(デコパージュ&シャドーボックス教室主宰)
身近にあるポストカードや好きな写真等を使い、さまざまな技法を用いて板・蝋燭・陶器などに貼り合わせて加工する大人の工作を楽しみましょう。

作品例▶



実用ペン字コース 定員 20人 ～美文字への道～

橋口由佳さん(橋口書道教室主宰)

デジタルの時代だからこそ手書きの良さが見直されています。「今更」なんてことはありません。美しく書くポイントを分かりやすくお伝えします。

